

5 月定例所長会見における横村所長挨拶内容

- 所長の横村でございます。
- 福島第一原子力発電所の事故から 2 年以上経過した今もなお、福島県の皆さま、新潟県の皆さま、そして広く社会の皆さまに、大変なご不便とご心配をおかけしておりますことを、心よりお詫び申し上げます。
- 本日、私からは 4 点お話しさせていただきます。
- まずは、当発電所の安全対策に関する主な取り組み状況についてです。
1～4 号機側の防潮堤の工事は、約 9 割の進捗率で、当初の予定通り今年 6 月の完成に向け、順調に工事を進めております。

また、原子炉建屋最上階に、水素が漏えいした場合にこれを除去する設備の設置工事を、7 号機で 4 月 18 日から、1 号機で 4 月 22 日から順次開始いたしました。来月末を目途に設置工事を完了する予定です。

発電所の安全対策への取り組み状況については、来週の 15 日には「新潟県内市町村の安全協定に基づく原子力発電所連絡会」として県内市町村の原子力担当の皆さまから、また今月 26 日には「地域の会」の皆さまから、安全対策をはじめとした発電所の状況をご覧いただく予定です。

- 次に、敷地内断層に関する地質調査の評価結果についてです。
当社は、先月 18 日に敷地内断層に関する地質調査の評価結果について公表させていただきました。発電所敷地内で確認されている断層は、いずれも安田層の上部を変位させていないことから、今回の調査では、その安田層に関する年代評価を行っております。
ボーリングにより採取した試料の分析を行った結果、安田層は中期更新世である約 20 万年前以前に形成された地層であると判明しましたので、発電所敷地内で確認されている断層は、約 20 万年前以降の活動はないものと考えております。

現在、原子力規制委員会において活断層評価に関する審査基準等の策定が進められておりますので、基準に対する適合性等についてはあらためて評価を行ってまいります。

○ 3点目は、「地域の皆さまへの説明会」についてです。

来月4日に刈羽村にて、6日に柏崎市にて、地域の皆さまへの説明会を開催いたします。地域の皆さまへの説明会につきましては、福島第一原子力発電所の事故以降で4回目の開催となります。今回の説明会では、福島第一原子力発電所の事故を踏まえた原子力安全改革プランやその取り組み状況、当発電所における安全対策の実施状況、発電所敷地内の断層に係る地層の年代評価結果などに関するご説明をさせていただく予定です。多くの地域の皆さまからご来場いただき、ご質問やご意見についても分かり易く、丁寧にお答えしてまいりたいと考えております。

○ 最後に、リスクコミュニケーターの選任についてです。

4月10日に社長直轄のソーシャル・コミュニケーション室を設置するとともに、新潟方面にリスクコミュニケーター10名を選任いたしました。今後は、このリスクコミュニケーターを中心に、様々な場面において社会の尺度や目線にあったリスクコミュニケーションに取り組んでまいります。

○ 本日、私からは以上です。

以 上